

ソシエテ・ジェネラル、拡大する上場投資信託（ETF）市場の ニーズに対応し、リクソーETF 担当責任者として浦岡弘助を採用

プレスリリース

日本、2020 年 10 月 5 日

ソシエテ・ジェネラル証券株式会社は、リクソーETF の担当責任者として浦岡弘助（うらおかひろすけ）を採用しました。リクソーETF は、リクソー・アセット・マネジメント（LAM）の上場投資信託（ETF）のブランドです。また LAM は、ソシエテ・ジェネラルの完全子会社で、UCITS¹ ETF を提供する資産運用会社として上位 3 社²の一角を占めています。当該ポジションは今回新設されたもので、浦岡はソシエテ・ジェネラル証券在籍のもとリクソーETF の日本事業の拡大に取り組めます。

今後、浦岡は日本の機関投資家のサポートに加え、拡大する日本の ETF 市場における新たなビジネス機会の獲得に注力していきます。また、今回の人事は、顧客需要が高まっている ESG（環境・社会・ガバナンス）関連商品を含むニーズに、欧州の大手 ETF プロバイダーであるソシエテ・ジェネラル・グループが的確に応えられるよう、各種 ETF 商品を開発する上でも重要な意味を持っています。

浦岡は東京を拠点に、ソシエテ・ジェネラル証券のアセットマネジメントプロダクト本部長である森田直久、ならびにソシエテ・ジェネラル（香港）のリクソーETF アジア太平洋部門の統括責任者であるクリストファー・フリーズの下、職務にあたります。

日本の ETF 市場は約 4,500 億米ドル³とアジア最大規模を誇り、過去 10 年間の年平均成長率⁴は 32%となっています。ここ数年、日本の機関投資家の間では UCITS 商品への関心の高まりが見られ、リクソーETF にとって戦略的に重要な市場となっています。

浦岡弘助略歴:

大和証券の東京、香港、ロンドンの各拠点において、株式及び ETF ブローカレッジ業務に 13 年間にわたり携わる。直近数年は、本邦機関投資家向けオフショア ETF ビジネスを担当。

¹ 譲渡可能証券の集団投資事業

² 運用資産残高に基づく

³ 2020 年 8 月末時点

⁴ 出所：ETFGI 社。2020 年 8 月時点における ETF/ETP 市場の過去 10 年間の年平均成長率。米ドル

当プレスリリースの問い合わせ先：

広報本部 小河原 愛

E-Mail : ai.ogawara@socgen.com

Tel: +81 3 6777 8881

ソシエテ・ジェネラル

ソシエテ・ジェネラルはユーロ圏最大級の金融サービスグループです。多角的かつ総合的なバンキングモデルを採用しています。強固な財務基盤を維持し、イノベーションにおける専門性で高い実績を有しています。持続可能な成長を目標とする経営戦略を実行しており、お客さまから信頼されるパートナーとなり、地域社会と経済に有益な変化をもたらすことを目指しています。また、信頼のおける革新的な金融商品およびサービスの提供を通じて、日々、お客さまとともにより良い持続可能な未来を築くことに努めています。

ソシエテ・ジェネラルは、確固たる地位を築いている欧州を拠点に世界に広がるネットワークを通じて 150 年以上にわたり世界経済において重要な役割を果たしています。世界 62 カ国の拠点に 13 万 8,000 人を超える従業員を擁し、2,900 万の個人、法人、機関投資家のお客さまに様々なアドバイザリー・サービスと顧客ニーズに合わせた金融ソリューションを提供しています。

当グループは、以下 3 つの主力業務部門から構成されています。

- ・ フランス国内リテールバンキング部門：ソシエテ・ジェネラルの支店網とクレディ・デュノール、ブルソラマのブランド名で、最先端のデジタル技術を駆使した総合的な金融サービスを多様な販売チャネルを通じて提供しています。
- ・ 国際リテールバンキング & 金融サービス部門：新興国および専門性の高い主要金融ビジネスにおいて主導的地位を築いています。
- ・ グローバルバンキング & インベスターソリューションズ部門：定評ある高い専門性、統合型ソリューションを主要な市場で提供しています。

ソシエテ・ジェネラルは、社会的責任投資指数の代表格であるダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（世界および欧州）、FTSE4Good（世界および欧州）、Euronext Vigeo（世界、欧州、ユーロ圏）、4 つの STOXX ESG リーダーズ指数、MSCI 低炭素リーダーズ指数の構成銘柄です。

詳しくは当社のウェブサイト www.societegenerale.com またはツイッター  @societegenerale をご覧ください。